

Arcserve Backup 19 動作要件

(富士通追加要件)

2022年6月1日更新

- 基本的な動作要件は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

Arcserve Backup 19 for Windows 動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-Backup-19-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>

- 富士通が販売する Arcserve Backup 19 関連製品の動作要件は、Arcserve 社が公開している動作要件に、本ドキュメントの内容が追加されます。
- 本製品のバージョン表記について Arcserve 社では「19.0」と表記しておりますので、Arcserve 社の情報を参照する際は読み替えてください。

索引

- [適応機種](#)
- [仮想マシンへの導入について](#)
- [クラウドへの対応について](#)
 - ・ [クラウド環境の仮想マシン上での動作について](#)
 - ・ [オブジェクトストレージへのデータ退避について](#)
 - ・ [他社クラウドへの対応について](#)
- [Arcserve Backup 19 for Windows](#)
- [Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option](#)
- [Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files](#)
- [Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows](#)
- [Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux](#)
- [Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle](#)
[Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License](#)
 - ・ [Virtual Machines Agent 【ホスト OS】](#)

- [Virtual Machines Agent 【Windows ゲスト OS】](#)
- [Virtual Machines Agent 【Linux ゲスト OS】](#)

適応機種

- Arcserve 社の動作要件に記載されたハードウェア要件を満たす、以下の機種をサポートします。
 - FUJITSU Server PRIMERGY
 - FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000/2000 シリーズ
 - FUJITSU Server PRIMEQUEST 1000 シリーズ (Agent のみ)
 - FMV (Arcserve Backup ベース (本体) 製品に同梱される Client Agent for Windows、および、Arcserve マネージャのみサポート)
- 他社 PC サーバーのサポート条件は、以下をご確認ください。

他社 PC サーバー上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

- 他社クラウド上のサポート条件は、以下をご確認ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

仮想マシンへの導入について

仮想マシン上に製品を導入する場合の留意事項は以下のとおりです。

- VMware ESXi 無償版/無償エディションはサポートしません。
- VMware が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - VMware vSphere vMotion における切り替え中の動作は保証しません。
 - VMware vSphere High Availability における切り替え中の動作は保証しません。
 - VMware vCenter Site Recovery Manager で本製品を使用する場合、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本製品を導入してください。
- Hyper-V が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

- クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
- フェールオーバーにおける切り替え中の動作は保証しません。
- Linux 仮想マシン機能（KVM）が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
 - ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

クラウドへの対応について

クラウド環境の仮想マシン上での動作について

- 以下のクラウドが提供する仮想マシン上での動作をサポートします。
 - FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure
 - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O
 - FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V
 - FUJITSU Hybrid IT Service for AWS
 - ニフクラ
- 以下の製品はサポート対象外です。
 - Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option
 - Arcserve Backup 19 for Windows Tape Library Option
 - Arcserve Backup 19 for Windows NDMP NAS Option
 - Arcserve Backup 19 for Windows SAN Option
 - Arcserve Backup 19 for Windows SAN Secondary Server Bundle
- Arcserve Backup 19 の各製品が、物理環境でサポートしている OS とアプリケーションをサポートします。
- 仮想マシンを Arcserve Backup サーバーとする場合のバックアップデータ格納先は、仮想マシン上で認識可能なディスクベースデバイス（ファイルシステムデバイスまたは、デデュプリケーションデバイス）のみ使用できます。テープ装置へのバックアップには対応していません。
- 仮想マシン内のバックアップ対象は、データ領域のみです。システム領域（システムファイル、システム状態）のバックアップ・リストアには対応していません。

- 仮想マシンのリモートバックアップ・リストアは、Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle に含まれる、以下の機能を使用したバックアップ・リストアのみ対応します。
 - ・ Client Agent for Windows 機能
 - ・ Agent for Open Files 機能
 - ・ Client Agent for Linux 機能

オブジェクトストレージへのデータ退避について

バックアップ先やアーカイブ先として以下のクラウドが提供するオブジェクトストレージをサポートします。

- FUJITSU Hybrid IT Service for AWS

他社クラウドへの対応について

- 他社クラウドへの対応については、以下を参照ください。

他社クラウド上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

Arcserve Backup 19 for Windows

- Windows Server 2019 以降のクラスタセット対応環境はサポート対象外です。

Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option

- 復旧対象マシン上で、Windows ADK の標準添付ドライバでは動作しないハードウェアを使用している場合、別途デバイスドライバを用意する必要があります。
- Windows Server 2022 で復旧用メディアを作成する場合には、Windows ADK for Windows 11 をインストールしてください。
- 本製品を用いたシステムの移行、および複製はサポート対象外です。

- 以下の環境、および、機能はサポート対象外です。
 - ・ 仮想マシンの復旧（クラウド上の仮想マシン含む）
 - ・ 物理マシンから仮想マシンへの復旧（Physical to Virtual DR）、および仮想マシンから仮想マシンへの復旧（Virtual to Virtual DR）
 - ・ Linux 環境の復旧
 - ・ フェールオーバークラスタ環境の共有ディスクおよび Cluster Shared Volume の復旧（各ノードのローカルディスクの復旧のみサポート）
 - ・ クライアント OS 環境の復旧
 - ・ 読み取り専用ドメインコントローラ（RODC）環境の復旧
 - ・ 異なるセクタサイズのハードディスクへの復旧
 - ・ Windows Server 2012 以降の記憶域プール上に作成した仮想ディスクの復旧
 - ・ ReFS フォーマットのドライブに対するバックアップセッションの変更
 - ・ クラウドベースデバイスを使用した復旧
 - ・ NAS に接続されたバックアップ装置を使用した復旧
 - ・ Arcserve Backup 19 for Windows Tape Library Option にて、以下のテープライブラリ拡張機能を設定している装置を使用した復旧
Tape RAID 0/Tape RAID 5/仮想ライブラリ

Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

- Windows OS の VSS と連携した方式での運用を推奨します。この場合、製品のインストールは行わず、ライセンス登録のみ行います。
- 合成フルバックアップの機能を使用される場合は、同等の機能を提供する Arcserve UDP 製品を使用したバックアップ運用をご検討ください。

Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows

- クライアント OS は、ユーザデータ（システムを除く）のバックアップ・リストアのみ対応します。

Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

- サポートするディストリビューションは、Red Hat のみです。

- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)、Red Hat Enterprise Linux 7、および Red Hat Enterprise Linux 8 の RAW パーティションのバックアップ・リストアには対応していません。
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)、Red Hat Enterprise Linux 7、および Red Hat Enterprise Linux 8 は、ユーザデータ（システムを除く）のバックアップ・リストアのみ対応しません。

Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

Virtual Machines Agent 【ホスト OS】

- 以下に該当する仮想マシンには対応していません。
 - ・ Hyper-V 仮想化環境上のパススルーディスクが接続された仮想マシン
 - ・ VMware 仮想化環境上の独立型仮想ディスクが接続された仮想マシン
- VMware のスナップショット機能を使用する製品（VMware Data Recovery 等）との併用はできません。

Virtual Machines Agent 【Windows ゲスト OS】

- 仮想マシンがクライアント OS の場合、RAW モードバックアップ（仮想マシン単位でのイメージバックアップ）のみ対応します。

Virtual Machines Agent 【Linux ゲスト OS】

- サポートするディストリビューションは、Red Hat のみです。
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)、Red Hat Enterprise Linux 7、および Red Hat Enterprise Linux 8 の RAW パーティションのバックアップ・リストアには対応していません。
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)、Red Hat Enterprise Linux 7、および Red Hat Enterprise Linux 8 は、ユーザデータ（システムを除く）のバックアップ・リストアのみ対応します。